

中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定による認定申請書

令和 年 月 日

山口市長 殿

申請者 住所 _____

氏名 _____ (※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

私は、_____ (以下、甲とする) (注1)が、経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整を行っていることにより、借入れの減少が生じ、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第7号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

- 1 金融機関からの総借入金残高のうち、甲からの借入金残高の占める割合 (A/B) _____ %
- A _____ 年 _____ 月 _____ 日の、甲からの借入金残高 _____ 円
- B _____ 年 _____ 月 _____ 日の金融機関からの総借入金残高 _____ 円
- 2 甲からの借入金残高の減少率 _____ %
- $\frac{D-C}{D} \times 100$
- C _____ 年 _____ 月 _____ 日の 甲からの借入金残高 _____ 円
- D _____ 年 _____ 月 _____ 日 (Cの前年同期を記入のこと) の 甲からの借入金残高 _____ 円
- 3 金融機関からの総借入金残高の減少率 _____ %
- $\frac{F-E}{F} \times 100$
- E _____ 年 _____ 月 _____ 日の金融機関からの総借入金残高 _____ 円
- F _____ 年 _____ 月 _____ 日 (Eの前年同期を記入のこと) の金融機関からの総借入金残高 _____ 円

第 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで(注2)

山口市長 伊藤 和貴

(注1) 経済産業大臣が指定する金融取引の調整を行っている金融機関の名称を記入すること。
 (注2) 信用保証協会への申込期間を指す。
 (注3) 申請者の全ての金融機関からの総借入金残高及び甲からの借入金残高が確認可能な残高証明書、財務諸表、借入証書等を添付すること。
 (留意事項) ①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
 ②認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。